

令和4年度

周陽環境整備組合一般会計
歳入歳出決算審査意見書

岩国市監査委員

令和 5 年 8 月 10 日

岩国市長 福 田 良 彦 様

岩国市監査委員 平 井 健 司

岩国市監査委員 品 川 充 洋

岩国市監査委員 松 川 卓 司

令 和 4 年 度 周 陽 環 境 整 備 組 合
一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 に つ い て

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 292 条の規定において準用する地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第5条第3項の規定により審査に付された令和4年度周陽環境整備組合の一般会計歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

令和4年度周陽環境整備組合一般会計歳入歳出決算審査意見

	ページ
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の概要	2
(1) 決算規模及び決算収支	2
(2) 歳入	2
(3) 歳出	4
2 財産に関する調書	5
(1) 公有財産	5
(2) 物品	5
(3) 基金	6
3 歳計現金	6
4 むすび	7

【凡例】

- 1 文中及び表中の金額の表示は、原則として千円単位で表示し、表示単位未満は四捨五入した。したがって、合計額と内訳の計、差引き等が一致しない場合がある。
- 2 文中及び表中の比率は、原則として小数点第2位を四捨五入した。したがって、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合がある。
また、比率を求めるに当たっては、表中の金額表示ではなく、決算数字（円単位）で計算しているため、一致しない場合がある。ただし、構成比率は合計が100%になるよう一部調整した。
- 3 比率（%）は原則として小数点第1位で表示したが、比較する数値が等しい場合は、比率を100（%）と表示した。
- 4 各表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「△」……………負数
 - 「－」……………該当数値はあるが、四捨五入しても単位未満のもの
 - 空欄……………該当数値がないもの
 - 「皆増」・「皆減」……比率の対象数値が「0」のもの

令和4年度周陽環境整備組合 一般会計歳入歳出決算審査意見

この決算審査は、令和5年3月31日をもって周陽環境整備組合が解散したことに伴い、令和4年度周陽環境整備組合一般会計歳入歳出決算について、地方自治法第292条において準用する地方自治法施行令第5条第3項の規定に基づき、事務を承継した岩国市長から岩国市監査委員の審査に付されたものである。

第1 審査の対象

令和4年度周陽環境整備組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和5年6月30日から令和5年7月27日まで

第3 審査の方法

決算審査に当たっては、岩国市監査基準に準拠し、岩国市長から審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び附属書類が関係法令に適合し、かつ正確であるか調査照合し、必要に応じて関係職員から説明を聴取し、計数の正否、予算の執行状況の適否等について審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、その計数は正確であり、当年度の決算を適正に表示していると認めた。また、歳入歳出予算も適正に執行されていたことを認めた。

なお、審査結果の概要及び意見は次のとおりである。

1 決算の概要

(1) 決算規模及び決算収支

令和4年度における歳入歳出額及び前年度対比は、次のとおりである。

決 算 状 況 年 度 比 較 表

(単位:千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	対 前 年 度	
			増減額	増減率
歳入歳出予算現額	270,614	205,051	65,563	32.0
歳入決算額(a)	356,832	205,051	151,781	74.0
歳出決算額(b)	90,763	203,611	△ 112,847	△ 55.4
形式収支額(a-b)(c)	266,068	1,441	264,628	18,370.4
翌年度へ繰り越すべき財源(d)	0	0	0	0
実質収支額(c-d)	266,068	1,441	264,628	18,370.4
単年度収支額	264,628	△ 205	264,833	129,176.7

本年度の決算額は、歳入が3億5,683万2千円、歳出が9,076万3千円となり、前年度と比較すると、歳入は1億5,178万1千円(74.0%)増加、歳出は1億1,284万7千円(55.4%)減少している。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は、2億6,606万8千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源はないため、実質収支も形式収支と同額となり、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支については2億6,462万8千円の黒字となっている。

(2) 歳入

令和4年度における歳入の決算状況及び市別負担金の明細は、次表のとおりである。

歳 入 決 算 の 状 況

(単位:千円、%)

区 分		予算現額	調 定 額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収 入 率	
							対予算	対調定
令和4年度		270,614	356,832	356,832			131.9	100
令和3年度		205,051	205,051	205,051			100.0	100
比 較	増 減 額	65,563	151,781	151,781				
	増 減 率	32.0	74.0	74.0				

歳入総額は、3億5,683万2千円で、前年度（2億505万1千円）に比べ、1億5,178万1千円、率にして74.0%増加している。これは、財産収入が159万7千円減少したものの、繰入金が1億5,357万3千円増加したためである。

財産収入減少の理由は、基金利子が減少したことによるものである。繰入金増加の理由は、組合解散により、基金残額を全額一般会計に繰り入れたためである。

歳入決算の内訳

(単位:千円、%)

区 分	令和 4 年 度					令和 3年度 決算額	決算対前年度比	
	予算現額	調定額	収入済額	収入率			増減額	増減率
				対予算	対調定			
分担金及び負担金	72, 779	72, 779	72, 779	100	100	72, 779	0	0. 0
繰 入 金	196, 801	282, 570	282, 570	143. 6	100	128, 997	153, 573	119. 1
繰 越 金	1, 000	1, 441	1, 441	144. 1	100	1, 646	△ 205	△ 12. 5
財 産 収 入	4	6	6	145. 5	100	1, 603	△ 1, 597	△ 99. 6
諸 収 入	30	36	36	120. 5	100	27	9	35. 5
合 計	270, 614	356, 832	356, 832	131. 9	100	205, 051	151, 781	74. 0

市・町別分賦金の状況

(単位:千円、%)

団 体 名	分 担 金 額	構 成 比
岩 国 市	72,779	100
合 計	72,779	100

組合の歳入のうち、分担金及び負担金とは組合構成市・町から徴収する分賦金のことである。分賦金の総額は7,277万9千円で、岩国市のみからの徴収となっている。これは、温水プールの運営経費に係るもののためである。

(3) 歳出

令和4年度における歳出の決算状況は、次表のとおりである。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位:千円、%)

区 分	令和4年度					令和 3年度	決算対前年度比	
	予算現額	支出済額	執行率	構成比	不用額	決算額	増減額	増減率
議 会 費	185	112	60.3	0.1	73	123	△ 12	△ 9.5
衛 生 費	197,100	17,876	9.1	19.7	179,224	130,712	△ 112,836	△ 86.3
温水プール 運 営 費	72,779	72,775	100.0	80.2	4	72,775	0	0
公 債 費	50	0	0	0	50	0	0	0
予 備 費	500	0	0	0	500	0	0	0
歳 出 合 計	270,614	90,763	33.5	100	179,851	203,611	△ 112,847	△ 55.4

支出額の多いものは温水プール運営費の7,277万5千円で、歳出決算額全体の80.2%を占めている。

衛生費の不用額1億7,922万4千円の主な理由は、ごみ処理施設解体費の委託料や工事請負費が0だったことによるものであり、これは解体工事に伴う調査・設計等業務費用と解体工事費用が令和5年度の支出となったためである。

歳出決算額年度比較表

(単位:千円、%)

年 度 区 分	令和4年度		令和3年度		対前年度比	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	112	0.1	123	0.1	△ 12	△ 9.5
衛 生 費	17,876	19.7	130,712	64.2	△ 112,836	△ 86.3
清 掃 費	17,876	19.7	130,712	64.2	△ 112,836	△ 86.3
清掃総務費	17,587	19.4	21,544	10.6	△ 3,957	△ 18.4
ごみ処理施設 解体費	289	0.3	109,168	53.6	△ 108,879	△ 99.7
温水プール 運 営 費	72,775	80.2	72,775	35.7	0	0
公 債 費	0	0	0	0	0	0
予 備 費	0	0	0	0	0	0
合 計	90,763	100	203,611	100	△ 112,847	△ 55.4

歳出決算額を前年度と比較すると 1 億 1,284 万 7 千円、率にして 55.4%の減少となっている。この主な理由は、ごみ処理施設解体費の工事請負費が 1 億 910 万円皆減、清掃総務費の共済費が 414 万 5 千円減少したためである。

ごみ処理施設解体費の工事請負費皆減の理由は、解体工事は令和 4 年度中に完了したものの、支出が令和 5 年度となったためである。なお、工事請負費は令和 5 年 5 月 19 日に 1 億 6,370 万円が支払われていることを確認した。清掃総務費の共済費減少の主な理由は、組合解散に伴い、退職金の積立が不要となったためである。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

令和 4 年度における土地及び建物の状況は次のとおりである。

土地及び建物の保有状況

(単位:㎡)

区 分	土 地 (地 積)			建 物 (延 面 積)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理場	34,578.48	0.00	34,578.48	0.00	0.00	0.00
ごみ処理場	0.00	0.00	0.00	3,067.09	△3,067.09	0.00
温水プール	0.00	0.00	0.00	1,999.30	0.00	1,999.30
事 務 所	0.00	0.00	0.00	33.17	0.00	33.17
車 庫	0.00	0.00	0.00	68.16	0.00	68.16
合 計	34,578.48	0.00	34,578.48	5,167.72	△3,067.09	2,100.63

決算年度末現在高は、土地（地積）が 34,578.48 ㎡、建物（延面積）が 2,100.63 ㎡となっている。ごみ処理場の解体により、建物（延面積）は 3,067.09 ㎡減少している。

決算年度末に保有する土地及び建物は岩国市が引き継いだ。

(2) 物品

物品は、合計 26 点を保有していたが、すべて温水プールの物品であった。

決算年度末に保有する物品についても、岩国市が引き継いだ。

(3) 基金

当年度における基金の状況は次のとおりである。

基金の状況

(単位:千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度増 (積立額)	決算年度減 (取崩額)	決算年度末 現在高
積 立 金	282,570	0	0	282,570
計	282,570	0	0	282,570

積立金の当年度末現在高は2億8,257万円で、前年度末からの増減はなかった。なお、基金残高は、岩国市が引き継いでいる。

3 歳計現金

令和4年度歳計現金（歳入歳出差引残額）は、266,068,468円である。

この金額は、令和4年10月4日に締結した、周陽環境整備組合の解散に伴う事務の承継に関する協議書第3条の規定により、岩国市が引き継いだ。

なお、同協議書第1条の規定により、組合に帰属する事務は、岩国市が承継している。

令和4年度の決算の概要は、以上のとおりである。

4 むすび

周陽環境整備組合は、昭和 48 年に当時の由宇町・周東町・玖珂町・熊毛町の生活環境保全と公衆衛生の向上を図るため、可燃ごみ焼却処理事務のための一部事務組合として設立され、昭和 56 年には和木町が加入した。

周陽環境整備センターは、ごみ処理施設として平成 6 年 4 月から稼働してきたが、平成 31 年 4 月からサンライズクリーンセンターが稼働することに伴い、同年 3 月 31 日に可燃ごみの受入を停止した。

その後、組合構成市町の岩国市、周南市及び和木町により協議が行われ、令和 5 年 3 月 31 日付で周陽環境整備組合は解散した。周陽環境整備センターは令和 4 年度に解体が完了している。

今後は、令和 4 年 10 月 4 日に締結された「周陽環境整備組合の解散に伴う事務の承継に関する協議書」に従い、清算に係る事務を適正に実施し、当該地域の環境衛生が確保されるよう留意していただきたい。